

マラナ・タ



12月10日に行われたクリスマス会にて。様子は下半期号で紹介予定。

～おしながき～

バザー報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・ともや p.1

近畿青年交流キャンプ報告・・・・・・・・・・けんじ p.2

編集長の考えごと・・・・・・・・・・・・・・・・かほ p.3



青年喫茶の報告



ともや

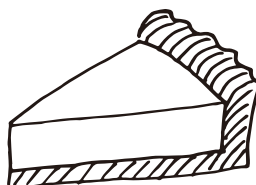
私たち青年会は、11月12日の洛北助け合いバザーにおいて、皆さまに献品していただいたスイーツと、はるき君が焙煎してくれたコーヒーや紅茶などの飲み物をセットで販売しました。えりささん、けんじくん、はなさん、はるきくん、まのさん、私などのメンバーで担当しました。当日の天気は曇りで、時々雨が降ることもありましたが、大きく天気が崩れることもなく、無事に喫茶部門を運営することができ、安堵しています。今回の喫茶コーナーのために、お忙しい中たくさんの方が、愛情をこめてスイーツを作って持ってきてくださったことに、まず感謝を申し上げなければなりません。

私自身が洛北教会のバザーに参加させていただくのは、今回が初めてでした。楽しいだけでなく、準備や片付けが効率的にできていた点がとても印象的でした。ただ、以前は今以上にCSの生徒も多く、今回のバザー以上に賑やかだったと伺いました。新型コロナウイルスの感染拡大後の現在、どうしたら教勢を拡大できるのか、どうしたらCSに多くの人を集められるのかということは今後少し考えてみたいですね。(もちろん教勢や人数ばかりを気にするという意味ではありません。)

さて、ケーキなどのスイーツは、どれも非常に美味しそうなものばかりで、購入された方がどれにしようか選びきれずに迷っている場面も見受けられました。また、はるき君が準備してくれたコーヒーをたくさんの方に召し上がっていただきました。私自身もコーヒーをいただいたのですが、香り高く、バランスが取れていて、寒い日にはピッタリのおいしいコーヒーでした。

見本のケーキに説明書きを添えるかどうか、メニュー表を作成するかどうかなどの改善点を来年に生かしていければと思います。

最後になりますが、献品してくださった皆様、コーヒーを準備してくださったはるき君、喫茶部門の注文受付や販売をしてくれた皆さんに、重ねてお礼申し上げます。



近畿青年交流キャンプに行ってきました！

けんじ

どうも。マラナタ委員の林です。かほではありません。もう僕が青年会に入ってから1年が経とうとしています。時の流れは速いものです。今まさに原稿の締め切りに追われて大焦りしているところなので尚更そう感じます

無駄話はさておき、今年の10月8日～9日の間で近畿青年交流キャンプに行ってきました！講師は春日井教会から栄巖先生が来てくださり、2日にわたって講演をしてくださいました。洛北からは白石夫妻、すぐる、みつぎ、僕が参加しました。白石夫妻と一緒に息子のみち君も一緒に参加していて、みんなでワイワイ話しながら向かっていたので長い時間の車移動もあまり苦ではなかったです。僕は今年が初参加だったのでどんなことをするんだろうとか、だれがいるんだろうとか不安とワクワクが混ざった気分でキャンプ場に向かっていました。

会場につくと、中高生修養会でも見覚えのある新大学生やスタッフの皆さんはもちろん、中高生修養会では会うことのなかったような個性あふれるメンバーがそろっていました。最初に開会礼拝を行ってその後教会紹介を行いました。教会紹介の内容はあまり覚えていませんが、他の教会の紹介が個性にあふれていたため、どこか敗北感を感じたような、悔しい気分になりました。洛北青年会も紹介のインパクトを挙げていこうと思います。宿泊所の食堂のごはんはバイキング形式で取り放題だったため、お腹いっぱい食べることができました。同じグループの人が信じられないくらい山盛りのパスタを用意し、それを平らげていく様子には本当に顎が外れるかと思うくらい驚きました。基本的に自由時間が多かったため、いろいろな人と話す機会が多かったです。非常に個人的なことですが、お風呂に入った後に友達と売店で買って食べたカップ焼きそばが最高においしかったです。

今回のキャンプの中で特に面白いと思った活動はMDと呼ばれる活動でした。ランダムで組まれた2人組で周辺の散歩をするというものです。雑談しながら散歩することで、普通にキャンプで過ごすだけでは知れないような面白い話をたくさん聞くことができ楽しかったです。栄先生がしてくださった講演は、神様とともに生きるとはどういうことか非常に考えさせられるものでした。自分がその時神様との生き方に少し迷っていた時期であったため、自分の悩みを解決してくれる良い機会でした。

こうして神様を信じる人が集まって自分のことを打ち明けて話すことができる機会があることを本当にうれしく思います。キャンプがあまりにも楽しかったので、拙い文章になっているかもしれませんが、そこはご容赦ください。来年のキャンプの時にはもっとたくさんの青年を誘って参加できたらと思います。



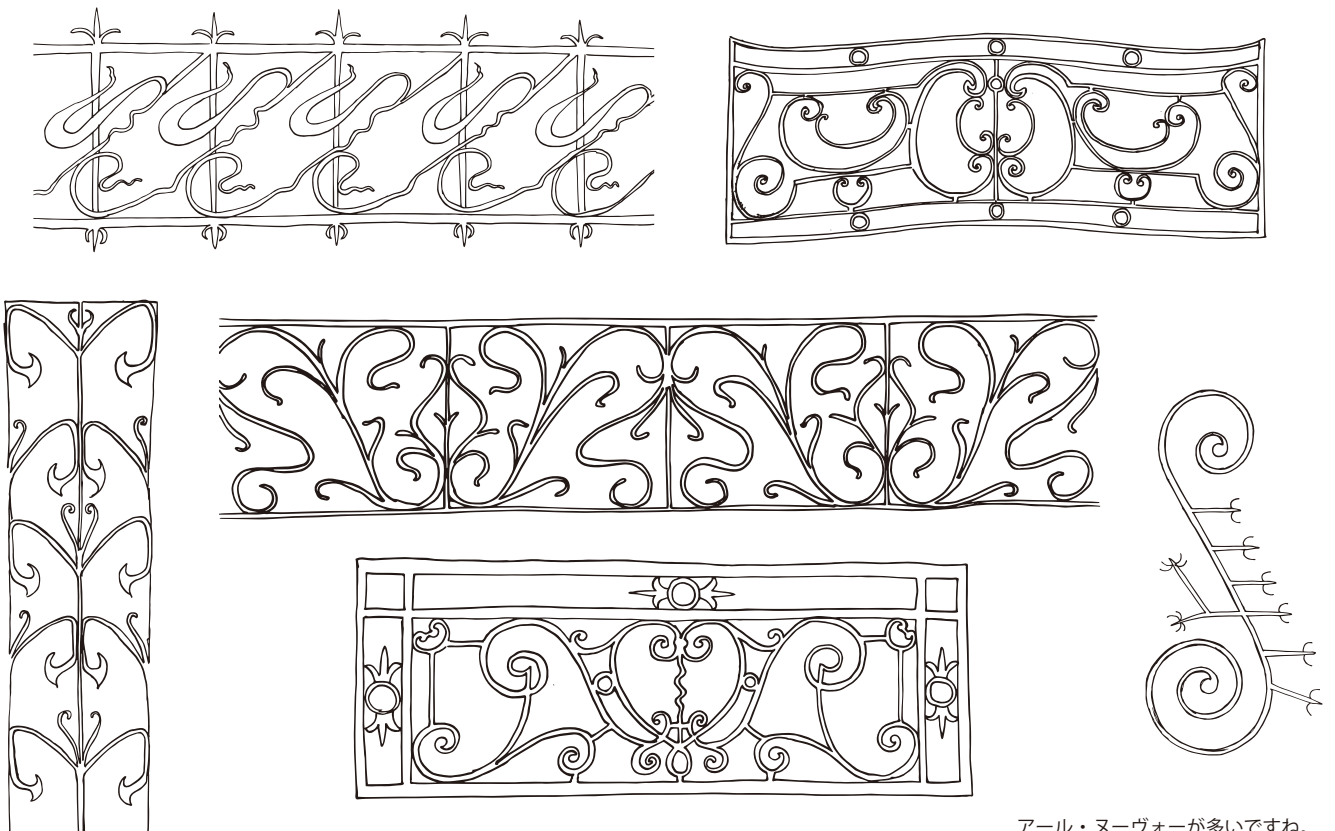
編集長の考えごと

かほ

今年度は6月のonline号以来の登場、編集長です。今回もこのマラナタonlineをお読みいただき、ありがとうございます。

この夏休みはイギリスはロンドン、ベルギーはブリュッセル、フランスはパリと、合計3週間のひとり旅に出ていました。大学に入ってから毎年1回はひとり旅をしていて、淡路島、奈良ときて、今年は上に挙げた3カ所でした。国内でも国外でも、初めて見る景色にわくわくするのも、慣れない交通機関に乗る時の不安もほとんど同じですが、どんなに綺麗な景色があっても、美味しいご飯・不味いご飯でも、リアルタイムで気持ちを共有できる相手がないのは寂しいです。とはいえ、写真を撮りながら、おやつを食べながら、毎日足裏に痛みを感じるくらい歩き回るのは楽しいです。食費や交通費さえケチる貧乏旅は学生の醍醐味なので、大学生の方はぜひひとり旅を試してみてください。そして他府県への移動が多い方は、お勧めの場所を教えてください。

建物や教会、店構え、街の人々など、紹介できるものはたくさんある中で、良かった鉄柵をイラストで紹介して終わりにします。ではまた下半期号でお会いしましょう。



アール・ヌーヴォーが多いですね。